

2026年2月4日

一般社団法人 日本消防ポンプ協会
総務委員長 山北 忠司

2026（令和8）年度 消防車の供給とシャシの価格上昇について（情報提供）

平素から、当協会の業務にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、2026（令和8）年度の消防車の供給とシャシの価格上昇に関しまして、以下の通り情報提供いたします。別添資料とあわせてご確認くださいませようお願いいたします。

消防機関への周知についてお力添えいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

記

(1) 消防車の供給について

消防車のベースとなるシャシの法規制の強化は毎年のように行われています。これまではその適用は例年様々な時期に行われていましたが、2026年度より当面の間、9月に統合されることになりました。これにより、期中にシャシのモデルチェンジが実施されることとなり、新型シャシの消防車メーカーへの入庫は秋以降になることが見込まれ、2026年度中にご注文いただいた消防車を年度内に納入することは難しい状況です。

また、この数年間、様々な事情により納期の設定にご配慮をいただいているところですが、結果として前年にご発注いただいた消防車を製造する状況が続いていることから、今後につきましても、同様の傾向が継続する見通しです。

(2) シャシ価格の上昇について

新型シャシにつきましては法規制への対応により、2026年度の期中に数百万円規模の価格上昇が見込まれます。

以上のことから、消防車の納期設定につきましては消防車メーカーと十分にご相談いただき、柔軟にご対応くださいますようお願いとご協力をお願い申し上げます。また、シャシの価格が上昇することにつきましてもご理解くださいますようお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人日本消防ポンプ協会（下記）までお願いいたします。

以上

問合せ先

一般社団法人日本消防ポンプ協会

担当 : 山田

TEL : 03-5777-5333

別添 法規制適用時期の統合について

■ シャシに関する法規制(保安基準)の適用時期が、当面の間、全て9月に統合されます。

令和7年度までシャシの各法規の適用時期は例年様々でしたが、令和8年度からは下表に示すとおり、当面の間9月に統合されることになりました。これは、自動車メーカー等の法規対応にかかる開発・評価及び国の審査・監査の負荷が増加している※ことを受け、それらを効率化するための取り組みです。

この変更に伴い、自動車メーカーによる新型シャシの生産開始が秋以降となる見込みであることから、消防車両の納車に遅れが生じるものです。

※自動車の型式指定に関する不正行為が相次いだことを踏まえて設置された「自動車の型式指定に係る不正行為の防止に向けた検討会」で掲げられた対策のひとつ。

今後予定される法規		適用時期	
		旧	新
令和8年度	R142/01 タイヤ取付	令和8年 4月	令和8年 9月
	R117/04 タイヤ騒音	令和8年 4月	令和8年 9月
	R54 タイヤ強度	令和8年 4月	令和8年 9月
	R155 サイバーセキュリティ	令和8年 5月	令和8年 9月
	R156 ソフトウェアアップデート	令和8年 5月	令和8年 9月
令和9年度	R165 バックブザー	令和9年 1月	令和9年 9月
	PN規制(排ガス規制)	令和9年 9月	令和9年 9月
	R48/08 オートライト・デイトタイムランニングライト	令和9年 9月	令和9年 9月
	OBFCM(車載式燃料・電力消費等監視装置)搭載	令和9年 10月	令和9年 9月
令和10年度	R51/03 車外騒音 フェーズ3	令和10年 10月	令和10年 9月
令和11年度	R167 直接視界	令和11年 1月	令和11年 9月
令和12年度	R169 イベントデータレコーダ設置	令和12年 12月	令和12年 9月

毎年のように法規制対応が発生

■ 今後懸念される事項

- 適用時期統合により、期中でのモデルチェンジが発生。
⇒**新型シャシの入庫の遅れが常態化する見込み**
- 法規適用に伴うモデルチェンジによるシャシ価格上昇。
⇒**特に令和8年度は、中型シャシ(水槽車・軽化学車・救助工作車等)・大型シャシ(はしご車等)において大幅な価格上昇が見込まれる**
- 上記懸念事項は、今後毎年のように発生する可能性が高い。

■ 法規制への適用が9月時の例(参考)

※モデルチェンジが発生した場合

